

街歩きがおもしろくなる! 上海道路名のヒミツ

上海の道路名をよく見ると、全国の都市名、歴史上の人物、昔から残る地名など、いくつかの法則が見えてくる。さらに近年は、街のランドマークやイメージを映した名前も登場。身近な道路名から、上海の街づくりをのぞいてみよう。

上海の道路名には、街の歴史や発展の過程が隠れている。都市名や省名を使う「都市系」、昔から残る土地名、人物名など、命名にはさまざまなルールが存在。近年は、新エリアの特徴や未来像を反映した新しい路名も増えている。

★ 省・都市名由来の路名

中国の道路名では、省名や都市名を使う命名方式が広く採用されている。特に上海では、東西方向の道路に都市名、南北方向の道路に省名を付けるルールがあり、南京路、北京路、四川路、河南路などが代表例だ。これは全国各地とのつながりを表すための命名で、道路名を見るだけで方向や位置関係を把握できるよう工夫されている。



▶ 中国のほか都市では「上海路」もある。
写真は南京市の上海路

★ 土地の記憶を残す路名

上海には、昔の暮らしや土地の由来を残した道路名も多い。「徐家匯路」は、明代の科学者・徐光啓の一族が暮らし、複数の川が合流する場所だったことから名付けられた地域名に由来。「七浦路」も、かつて七つの川が集まる場所だったことが名前の由来とされる。道路名から街の歴史を感じることができる。

▶ 光啓公園では徐光啓の墓や歴史を展示する



★ 偉人にちなんだ路名

中国では、歴史上の人物や国家に貢献した人物をたたえ、道路名に採用することも多い。上海では「中山路」が代表例。また「蔡倫路」は製紙技術で知られる蔡倫に由来。街を歩きながら、道路名から中国の歴史人物を知ることができる。

▶ 製紙の発明家・蔡倫

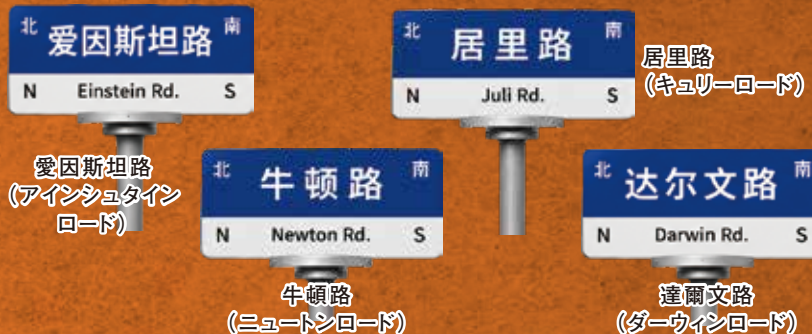


発見! 中々中々ロード

★ ディズニーリゾート界限



★ 科学者界限



★ レゴランドリゾート界限



★ 古参界限



一方、浦東新区の張江エリアでは、科学技術の街という特徴から「愛因斯坦(アインシュタイン)路」「居里(キュリー夫人)路」など、世界的な科学者の名前を道路名に採用。研究開発拠点としての地域性を、道路標識からも感じられる仕掛けだ。

また、「可楽路」「幸福路」など、昔からある道路名にも一度聞いたら気になる名前があり、小さな観光スポットに。上海の路名は単なる住所表示ではない。その場所がどんな街を目指しているのかを伝える、小さな街づくりのメッセージになっている。

街への願いを込めて

「申」と、楽しさを表す「楽」の字が使われ、子ども向けテーマパークらしい明るい雰囲気表現。周辺道路も含めて、新エリア全体のイメージ作りが行われている。

上海の道路名には、行政が正式に命名したものだけでなく、街の特徴や開発コンセプトを反映したユニークなものも存在する。特に新しく開発されたエリアでは、地域のイメージを高めるため、名前そのものに未来への期待やテーマ性が込められている。

上海ディズニーリゾート周辺の「奇妙路」「夢幻路」「星光大道」「探索路」は、来園者が夢や冒険を感じられるよう、ディズニーの世界観に合わせて名付けられたもの。単なる施設周辺の呼び名ではなく、市が登録した正式な道路名であり、街全体をテーマパークの一部として演出している。

上海レゴランドリゾート周辺でも、同様に施設の特徴を反映した路名が採用されている。「申楽路」などには上海を意味する「申」と、楽しさを表す「楽」の字が使われ、子ども向けテーマパークらしい明るい雰囲気表現。周辺道路も含めて、新エリア全体のイメージ作りが行われている。

名前に込められた遊び心